平成 27 年度 研究構想図

豊島区立朋有小学校

＜生きる力の育成＞
- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- 思考力・判断力・表現力
- 主体的な学習態度

＜学校教育目標＞
- にっこりあいさつ
- はっきりすてきなことば
- やる気いっぱい心ひとつに

＜児童の実態と育てたい力＞
- 書くことにより、考えを定着させたり、広めたりできるようになったが、表現力の差が課題である。
- 数学的な思考力・表現力

＜区学力調査による実態＞
- 全体的に、４観点の中では「数量や図形についての知識・理解」の問題が苦手傾向である。
- 全体的に全国比を上回っているが、現４年は全ての観点で全国を下回っている。

児童が主体的に学び、学習する喜びを分かち合う力をもつ

＜学習指導要領の理解＞
- 自ら学ぶ意欲や態度を育てる
- 日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる

＜目ざす児童像＞　〇見通しをもち筋道を立てて考えを表現できる児童

低　具体物を用いた活動などを通して、自分の考えを表現できる児童

中　多様な表現方法を用いて、自分の考えをもち、よりよい考えを見つけ表現できる児童

高　多様な表現方法を用いて、自分の考えをもち、学び合いを等して考えを深め表現できる児童

竹の子学級　具体物などを用いた活動を通して、自分で考える（考えようとする）児童

＜研究主題＞

「主体的な学びを目指した算数科学習指導」

－問題解決的な学習の授業づくり－

＜研究仮説＞

児童の表現にある「考え」を関連付ける指導を工夫すれば、数学的な思考力・表現力を育てることができる。

＜研究のねらい＞

児童の「考え」を関連付けることを通して、数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫を明らかにする。

＜研究方法＞

【調査研究】・区学力調査結果分析、レディネステスト、「算数に関するアンケート」を作成・実施し、習熟度別における児童の実態を把握する。検証授業後、児童の意識の変容を把握する。

【実践研究】・集団検討場面において「考え」を関連付ける指導の工夫を行う。

＜研究内容＞

◇「考え」を関連付ける指導の工夫
- 児童が興味・関心を引くような教材、場面の設定
- 自力解決の為の見通しのもたせ方と支援
- 「考え」を関連付ける指導過程　※集団検討場面の「考え」の整理・深化
- 「考え」の共通点と相違点がわかるようなノート活用